□小諸(こもろ)なる古城(こじょう)のほとり

島崎藤村(しまざきとうそん)

□小諸(こもろ)なる古城(こじょう)のほとり
□雲(くも)白(しろ)く遊子(ゆうし)悲(かな)しむ
□緑(みどり)なすはこべは萌(も)えず
□若草(わかくさ)もしくによしなし
□しろがねのふすまの岡辺(おかべ)
□日(ひ)に溶(と)けて淡雪(あわゆき)流(なが)る

□あたたかき光(ひかり)はあれど
□野(の)に満(み)つる香(かおり)も知(し)らず
□浅(あさ)くのみ春(はる)はかすみて
□麦(むぎ)の色(いろ)わずかに青(あお)し
□旅人(たびびと)の群(むれ)はいくつか
□白田中(はたなか)の道(みち)を急(いそ)ぎぬ

□暮(く)れ行(ゆ)けば浅間(あさま)もみえず
□歌哀(うたかな)し佐久(さく)の草笛(くさぶえ)
□千曲川(ちくまがわ)いざよう波(なみ)の
□岸近(きしちか)き宿(やど)にのぼりて
□にごり酒(ざけ)にごれる飲(の)みて
□草枕(くさまくら)しばしなぐさむ

締め切り　　月　　日

名前